

「DOCOMOMO さるく&トーク」

建築史家・林一馬がナビゲートする長崎の都市遺産を巡るプレミアムさるく

長崎都市遺産研究会の企画・第2弾となる今回のさるく&トークは、DOCOMOMO ※1に選定された誇るべき2大近代建築をメインに、龍馬ゆかりの唐寺などに寄り道しながら、歴史が重層する長崎のまちを散策します。ともに、1962（昭和37）年竣工の長崎市公会堂と日本二十六聖人記念館は、原爆復興を象徴する生きた建築遺産として、長崎のまちを見守ってきました。生粋の長崎人も、そうでない人も、建築にまつわるエピソードとともに、長崎の魅力を再発見しにきませんか？

※1：DOCOMOMO（ドコモモ）とは <http://www.docomomojapan.com/docomomoabout.html>

20世紀のモダン・ムーブメントに関わる建築遺産等の国際的な研究組織。社会的な資産として歴史的・文化的価値の高い近代建築を見直し、保存につなげる活動をしている。日本支部が選定する建築は現在164選。九州にある1/3の4件が県内に存在。長崎県では、他に佐世保の親和銀行本店と針尾送信所が選定されている。



DOCOMOMO に選定された、長崎の2大近代建築 長崎市公会堂と日本二十六聖人記念館



集合場所：公会堂前広場

- ・日時：2014年2月16日（日）13：00～16：30
- ・集合場所：長崎市公会堂前広場 / 広場側階段の左横、青いタイル前
/ 長崎電鉄 公会堂前徒歩1分 / 長崎市魚の町4-30
- ・募集人員：先着50名（希望者多数の場合は、お断りする場合がございます）
- ・参加費：無料
- ・主催：長崎都市遺産研究会
- ・メインナビゲータ：林一馬（建築史家・長崎総合科学大学教授・長崎都市遺産研究会代表）
- ・サブ：研究員（専門家によるステンドグラスの解説などもあります）
- ・申込方法：下記いずれかの方法でお申し込み下さい。
B.C.Dの場合は、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、年齢を明記の上、研究会事務局までお申し込み下さい。
A. facebook： https://www.facebook.com/events/515332135254394/523743271079947/?notif_t=like
facebookに登録している方は、イベントページ右上の「参加予定」ボタンをクリックして下さい。
B. e-mail アドレス： kokaido.nagasaki@gmail.com
C. FAX： 050-3153-0049 下記に必要事項をご記入の上、切り取らずにそのままFAXでお送り下さい。
D. 電話： 095-861-8626
- ・申込締切：2月15日（土）
- ・その他：さるく終了後に長崎駅周辺で懇親会を予定しています。飲食代は実費となります。
ご希望の方には、当日、懇親会場のご案内をします。

FAX 申込書 050-3153-0049 To DOCOMOMO さるく&トーク係

- ①氏名： _____ / ふりがな _____
- ②住所： _____
- ③電話番号： _____
- ④メールアドレス： _____
- ⑤性別：どちらかにチェックを入れて下さい 男 or 女 ⑥年齢 _____ 才

< 行程 >

受付開始 13:00~

長崎市公会堂内部、自由見学。

当日は市民向けシンポジウム開催中につき入場可能。

さるく&トーク開始 13:30~

1. 長崎市公会堂 <http://www.nagasaki-koukaidou.jp/>
原爆復興を象徴するドコモモ選定の歴史的な文化ホール
1962年竣工、長崎市出身の建築家・武基雄設計
外をまわりながら、建築の特徴や見どころを解説。

↓

2. 市役所

応募総数 163 通という当時としては稀に見る注目コンペで完成した市庁舎

1959年竣工、古宮節二設計。

市庁舎や議会棟の外をまわりながら、市役所建替計画に対する研究会の提案を解説。

↓

3. 聖福寺 <http://www.n-syofukuji.com/04.html>

大雄宝殿や天王殿、山門など文化財が多く残る 1677 (延宝 5) 年開創の唐寺。

海援隊「いろは丸沈没事件」談判の舞台にもなった龍馬ゆかりの名刹。黄檗文化の特徴をもった建築様式を解説。

↓

4. 復興記念碑@中町公園

原爆からの都市復興のため、戦後約 30 年にわたって行われた土地区画整理事業の記念碑。

かつて長崎復興工事事務所のあった中町公園から、復興に献身した人々に思いをはせます。

↓

5. 中町教会 <http://nakamachi.sakura.ne.jp/>

1896 (明治 29) 年、大村藩蔵屋敷跡地に献堂。原爆投下により焼け残った外壁と尖塔をいかして、

1951 (昭和 26) 年復元された被爆遺構。※時間により内部見学できない場合があります。

↓

6. 日本二十六聖人記念館 <http://210.136.236.116/MartyrsHP/Japanese.html>

ドコモモ選定の建築の一つ。モザイク画の壁画をはじめ、殉教史に基づくさまざまな図像が建築に投入されています。

1962年竣工、今井兼次設計。

記念館会議室にて、フリートーク。

公会堂から二十六聖人記念館まで、ドコモモ建築のおさらいや、長崎の歴史と建築に関する質問など、ゆるい感じで語ります。

解散 16:30 時間は、多少前後する場合があります。

尚、資料館見学はさるくコースに含みません。ご覧になりたい方は、さるく解散後 17:00 まで見学可能。

観覧料は自己負担でご入場ください。(大人 500 円、高・中 300 円、小学生 150 円)。

< お問い合わせ先 >

長崎都市遺産研究会事務局 (一宇一級建築士事務所内) 広報担当: 中村享一

電話: 095-861-8626

FAX: 050-3153-0049

e-mail: kokaido.nagasaki@gmail.com

web: <http://www.nagasaki-city-legacy.info>

facebook: <https://www.facebook.com/heritage.nagasaki>



コースマップ

